

俳句

1年目 ステップ1



おんせい
音声はこちら

ふるいけ 古池や かわづ飛び込む みず おと 水の音



まつおばしょう
松尾芭蕉

はな なの花や ひる 昼ひとしきり うみ おと 海の音



よさぶそん
与謝蕪村

よく見れば なづな花咲く かきね 壇根かな



まつおばしょう
松尾芭蕉

がえる やせ蛙 まけるな一茶 これにあり



こばやしいつさ
小林一茶



おんせい
音声はこちら

慣用句

1年目 ステップ1

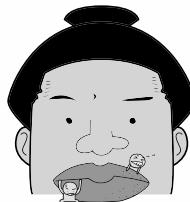
あし ぱう
足が棒になる

あし つか おも うー
足がひどく疲れて思うように動かなくなる。



くち おも
口が重い

ひとまえ
人前であまりしゃべろうとしないこと。



した ま
舌を巻く

かんしん
とても感心すること。



あぶら う
油を売る

むだばなし しごと とちゅう
無駄話などをして仕事を途中でさぼる。



みず なが
水に流す

これまでのいざこざなどを、すべてなかつたことにする。



うた

1年目ステップ1



おんせい
音声はこちら

《文節のうた》

さよね さよね

「さ」「よ」「ね」をいれて 考えよう

「さ」「よ」「ね」をいれて

自然に区切れるどこが文節だ

文節は 文を小さく区切った ひと区切り

会話文の文節分けは

かぎかっこがないものとして 考えよう

さよね さよね

「さ」「よ」「ね」をいれて 考えよう

文節は意味をこわすことなく、

文ができるだけ短く区切った

一区切りです。

右の例は、六つの文節です。

登のぼ

つて

みたないと

思つた

さ

ぼくは

こんど

富士山に

さ

ね

よ



おんせい
音声はこちら

ことわざ

1年目 ステップ1

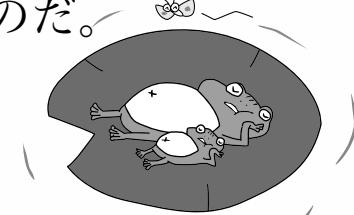
負けるが勝ち

無理して争うよりも、相手に勝ちを譲った方が結果は得になる。



かえるの子はかえる

子どもの性質や才能は親に似るものだ。



好きこそものの上手なれ

大成するためには素質などの条件も考えられるが、好きであってこそ上達する。



ぬかに釘

いくら意見しても手ごたえがなく、少しも効果がないこと。



花より団子

風流よりも実利、外觀よりも内容をとることのたとえ。



どんぐりの背くらべ

どれも同じ程度で特別優れたものがない様子。



百人一首

1年目 ステップ1



おんせい
音声はこちら

春 はる
夏 なつ 過 す
来 き ぎ
衣 ころも に て
ほ け らし
す て ちよ う
白 しろ
天 あま 妙 たえ
の の
香 か
具 ぐ
山 やま

秋 あき
か の 田 た
我 わ ほ の
が の
衣 ころも 庵 いお
手 て の
は

苦 とま
露 つゆ を あらみ
に ぬれ つ つ

(持 続 天 皇)

(天 智 天 皇)

